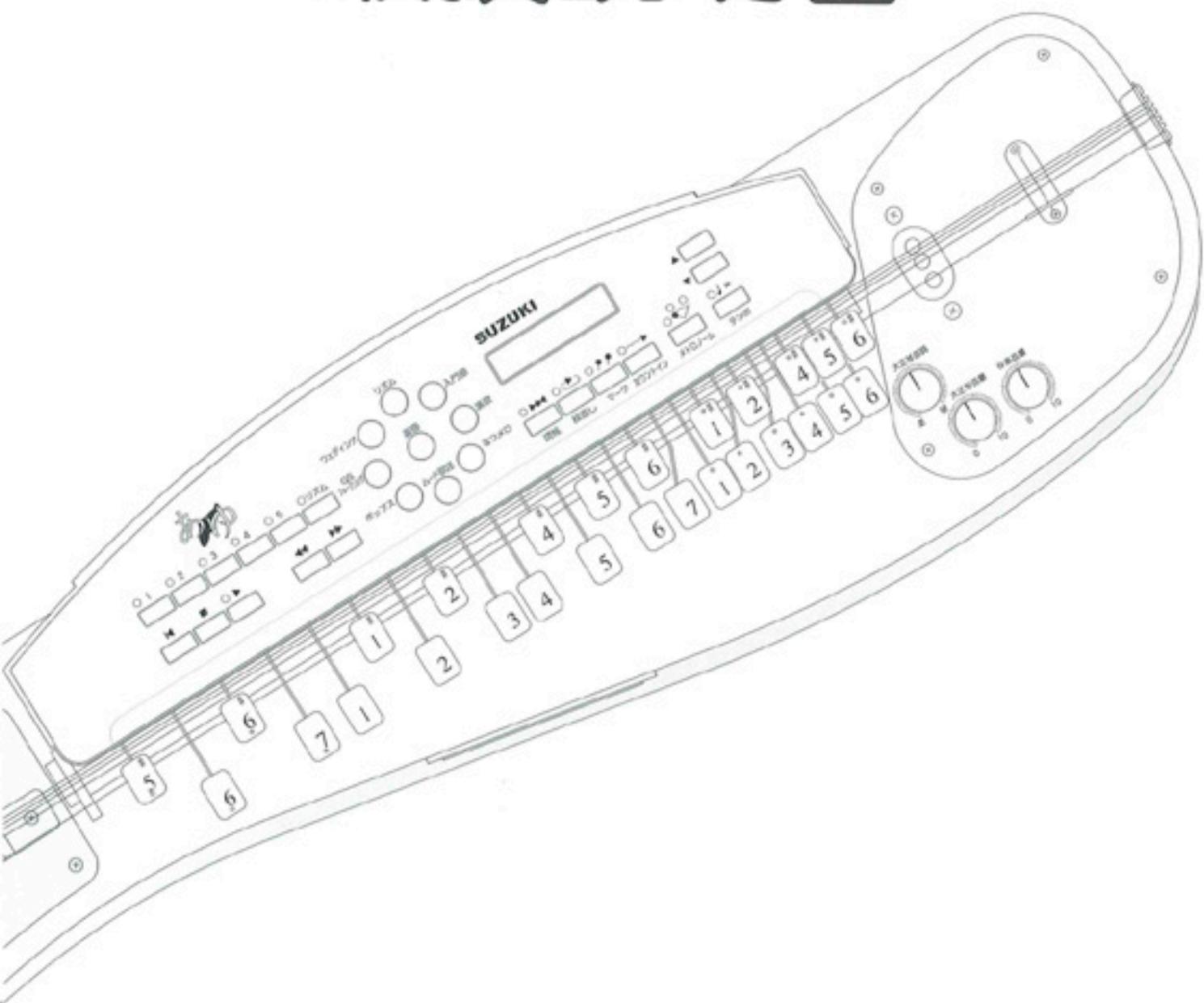
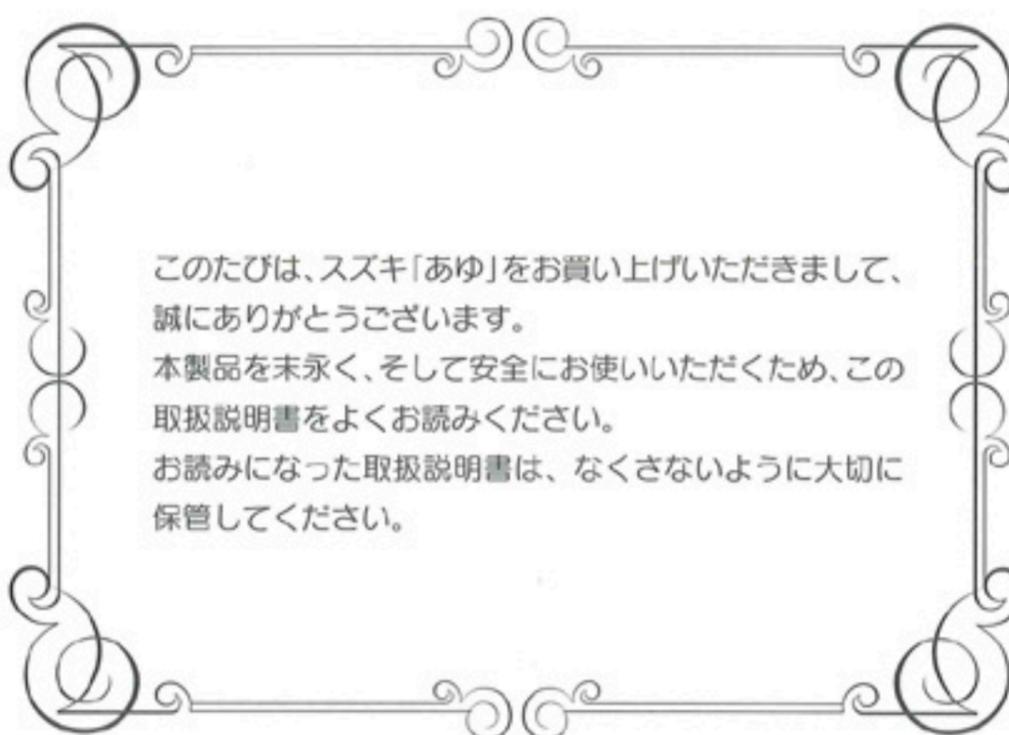


あゆ

取扱説明書



 **SUZUKI**



このたびは、スズキ「あゆ」をお買い上げいただきまして、
誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にお使いいただくため、この
取扱説明書をよくお読みください。

お読みになった取扱説明書は、なくさないように大切に
保管してください。

主な特長

■多数の曲を内蔵

様々な音楽ジャンルから厳選した90曲を本体に内蔵しています。
好きな曲を選んできいたり、曲に合わせて大正琴の演奏が楽しめます。

■やさしい操作

CDプレーヤーのような簡単な操作でミュージック・データの再生を楽しめます。

■練習に便利な機能

テンポ調整、メトロノーム機能、カウント機能、繰り返し演奏などを使って、大正琴の練習を効率よくすすめられます。

■特定のパートだけを鳴らしたり、消したり、小さくしたりできます

大正琴の演奏だけをきいておぼえたり、大正琴だけを消してオーケストラの伴奏にあわせて弾いたり、小さくきこえる演奏をガイドにして弾く、といった練習ができます。

■スタンダードMIDIファイル対応

スタンダードMIDIファイルに対応していますので、多数のミュージック・データを楽しむことができます。

目次

目次	3	第5章 より便利な機能	29
使用上のご注意	4	繰り返し練習したいところにマークをつけましょう	29
各部の名称とはたらき	6	マークをつけた位置から再生しましょう	30
上面部	6	マークを取り消しましょう	30
側面部	8	マーク間を繰り返し再生しましょう	31
下面部	8	つけたマークを移動しましょう	32
画面について	9	テンポ変化のない演奏にして練習しましょう	33
第1章 演奏する前に	10	調を変えてみましょう	34
ACアダプタを接続しましょう	10	演奏の響きを変えてみましょう	35
電源の入れかた/切りかた	10	特定の楽器の演奏をきいてみましょう	36
音量・音質を調節しましょう	10	1つのパートだけを再生しましょう	36
ヘッドホンを接続しましょう	11	特定のパートの音を鳴らなくしましょう	37
外部アンプに接続しましょう	11	パートに割り当てられた音色名を表示してみま しょう	37
お使いの楽器と音の高さを合わせましょう	12	第6章	
調絃をしましょう	13	フロッピーディスクを使ってみましょう	38
第2章		フロッピーディスクについて	38
大正琴を弾いてみましょう	15	フロッピーディスクの入れかた/取り出しかた	39
絃の弾きかた	15	フロッピーディスクの曲やリズムをきいてみましょう	39
ピックの持ちかたと右手の置きかた	16	「あゆ」で使用できるミュージックデータについて	40
絃の張り替えかた	17	「あゆ」の音源について	40
第3章		第7章 そのほかの機能	41
伴奏曲をきいてみましょう	19	カウントインの設定を変えてみましょう	41
内蔵曲をきいてみましょう	19	ランダムな曲順で全曲再生してみましょう	42
パート演奏をしましょう	21	資料	43
テンポを変えてみましょう	22	故障と思う前に	43
ボタンを押す間隔でテンポを変えてみましょう	22	エラー表示/その他の表示	44
1曲を繰り返しきいてみましょう	23	内蔵曲/内蔵リズム一覧	45
すべての曲を連続してきいてみましょう	24	ショートカットボタン一覧	47
内蔵リズムをきいてみましょう	25	パラメーター一覧	47
第4章		主な仕様	48
メトロノームを鳴らしましょう	26		
メトロノームのテンポを変えてみましょう	26		
メトロノームの音量を変えてみましょう	27		
メトロノームの拍子を変えてみましょう	27		
カウント音を鳴らして演奏のタイミング を合わせましょう	28		

使用上のご注意

	警告	この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。
	注意	この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的障害が発生する可能性が想定されます。

警告

-  **改造・分解は危険です**
改造や分解はしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがありたいへん危険です。
-  **付属の AC アダプタ以外は使用しないでください**
付属の AC アダプタ (AD1-1010) 以外は、絶対に使用しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電・発熱・火災の恐れがありたいへん危険です。
-  **濡れた手で触れないでください**
濡れた手で AC アダプタ・コードおよび本体に触れないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがありたいへん危険です。
-  **湿気は大敵です**
風呂場など水分や湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがありたいへん危険です。
-  **ホコリっぽい場所は避けてください**
ホコリの多いところでの使用・保管は避けてください。故障や発火などの原因になることがあります。
-  **コードは引っ張らないでください**
AC アダプタのコードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。感電の恐れがありたいへん危険です。

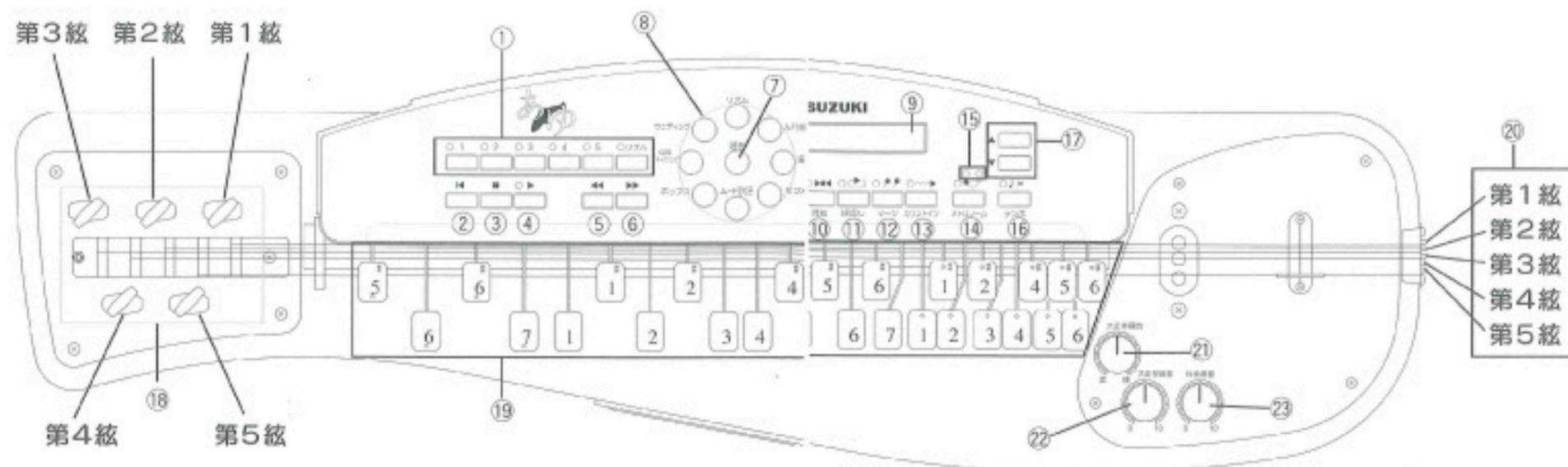
注意

-  **熱くなる場所を避けてください**
自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなる場所での使用・保管は避けてください。変形・故障の原因になることがあります。

-  **異物を入れないでください**
本製品に異物や液体を入れないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがありたいへん危険です。
-  **衝撃を与えないでください**
本製品をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく、故障の原因になります。
-  **不安定な場所に置かないでください**
楽器を不安定な場所に置かないでください。落下をして思わぬけがをする危険があります。
-  **絃の張り替えは顔を遠ざけて**
絃の張り替えのときは、本製品に顔を近付けすぎないようにしてください。万一絃が切れますと、顔や目を傷つける恐れがあり危険です。
-  **絃で手を傷つけないように**
絃の張り替えのとき、絃の先端で手や指などを傷つけないように気をつけてください。
-  **使わないときは電源を切ってください**
ご使用の後は電源スイッチを切り、AC アダプタを抜いてください。
-  **使わないときはフロッピーディスクを取り出してください**
演奏しないときは、楽器保護のためディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。
-  **磁気を使用している製品の近くは避けて**
本製品に搭載されているスピーカーは防磁型ではありませんので、テレビ、カセットテープ、フロッピーディスクなど、磁気を使用している製品の近くでお使いにならないでください。
-  **お手入れはやわらかい布で**
お手入れはやわらかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を痛めますので絶対に使用しないでください。
-  **異常を感じたら電源を切ってください**
万一異臭や発熱などの異常を感じたときは、電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店、スズキ各営業所または、お客様ご相談窓口にご連絡ください。

各部の名称とはたらき

上面部



① パート・ボタン

次の6つのボタンをパート・ボタンと呼びます。曲の演奏パートを選んで再生することができます。(P.21)

- [1] ボタン
- [2] ボタン
- [3] ボタン
- [4] ボタン
- [5] ボタン
- [リズム] ボタン

② [◀ (曲の頭)] ボタン

曲の先頭に戻します。

③ [■ (停止)] ボタン

演奏を止めます。

④ [▶ (再生)] ボタン

演奏を開始します。

⑤ [◀◀ (巻戻し)] ボタン

曲を巻戻します。

⑥ [▶▶ (早送り)] ボタン

曲を早送りします。

⑦ [選曲] ボタン

曲を選びます。(P.19)
基本画面を表示させます。(P.9)

⑧ ジャンル・ボタン

次の8つのボタンをジャンル・ボタンと呼びます。
曲のジャンルを選んで再生することができます。(P.19)
[リズム] ボタンでは、リズムの種類を選びます。(P.25)

- [入門曲] ボタン
- [演歌] ボタン
- [なつメロ] ボタン
- [ムード歌謡] ボタン
- [ポップス] ボタン
- [GSフォークソング] ボタン
- [ウェディング] ボタン
- [リズム] ボタン

⑨ ディスプレイ

操作に応じていろいろな情報を表示します。(P.9)

⑩ [▶◀ (調絃)] ボタン

第1,2,3,4,5絃の調絃をします。(P.13)

⑪ [↺ (繰返し)] ボタン

指定した曲や区間を繰返し再生します。(P.23, P.31)

⑫ [♪♪ (マーク)] ボタン

曲中にマークをつけます。(P.29)
マーク画面を表示します。(P.9)

⑬ [〜▶ (カウントイン)] ボタン

曲やリズムを再生する前にカウント音を鳴らします。(P.28)

⑭ [メトロノーム] ボタン

内蔵のメトロノームを鳴らします。(P.26)

⑮ 拍ランプ

曲・リズムやメトロノームのテンポにあわせて点灯します。
※1拍目は赤のランプが、それ以外の拍は緑のランプが点灯します。

⑯ [♪= (テンポ)] ボタン

テンポを調節します。(P.22)

⑰ [▲] [▼] ボタン

選んでいる項目の値を変更します。
[▲]と[▼]ボタンを同時に押すと、設定ごとの基本の値に戻ります。

⑱ 絃巻

第1,2,3,4,5絃の調絃をします。(P.13)

⑲ 鍵盤

鍵盤を押さえて絃を弾くと、音が鳴ります。(P.15)

⑳ 絃

ピックで絃を弾くと、音が鳴ります。(P.15)

㉑ [大正琴音質] つまみ

大正琴の音質を調節します。(P.10)

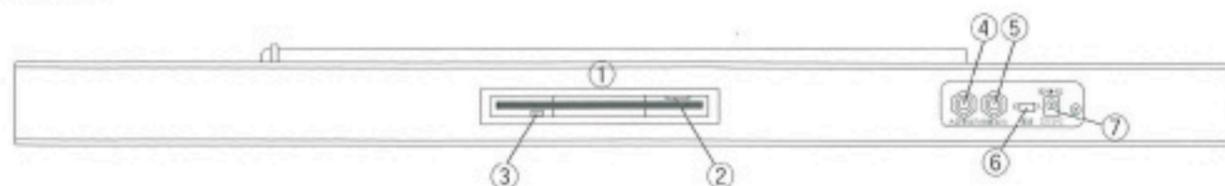
㉒ [大正琴音量] つまみ

大正琴の音量を調節します。(P.10)

㉓ [伴奏音量] つまみ

伴奏の音量を調節します。(P.10)

側面部



① ディスクドライブ

フロッピーディスクを挿入します。(P.39)

② イジェクトボタン

ディスクドライブから、フロッピーディスクを取り出します。(P.39)

③ アクセスランプ

フロッピーディスクのデータを読み込んでいるときに、ランプが点灯します。(P.38)

④ 大正琴出力端子

大正琴の音が出力されます。
外部アンプを接続します。(P.11)

⑤ 伴奏出力端子

伴奏の音が出力されます。
ヘッドホンや外部アンプを接続します。
(P.11)

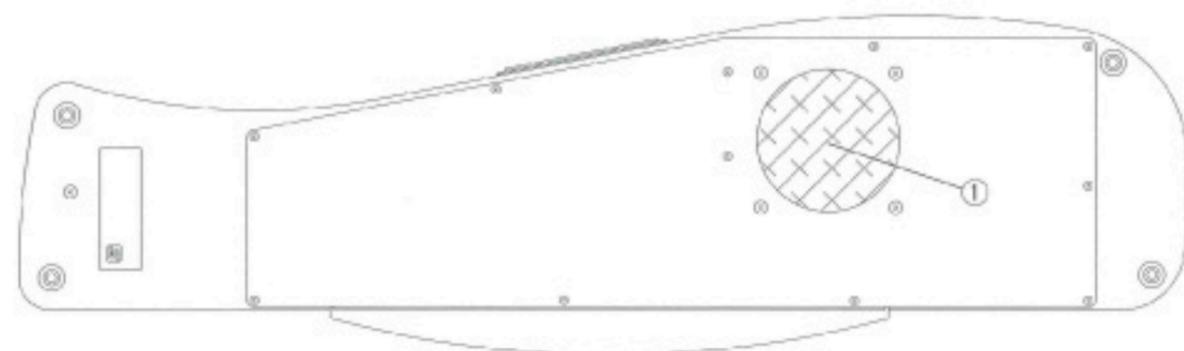
⑥ 電源スイッチ

スイッチを右に動かすと、電源が入ります。
(P.10)

⑦ ACアダプタ端子

付属のACアダプタを接続します。(P.10)

下面部



① モニタースピーカー

伴奏出力端子に何も接続していないときに、発音します。

画面について

■ 基本画面

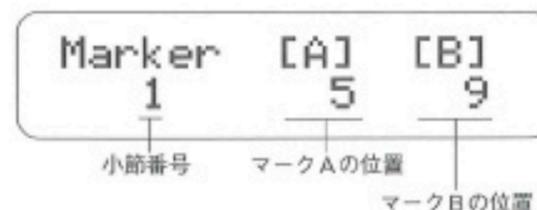
電源を入れたときは、次のような画面が表示されます。



他の画面が表示されているときは、[選曲] ボタンを1回、または数回押すと、基本画面に戻ります。

■ マーク画面 (P.29- P.32)

[** (マーク)] ボタンを押すと表示されます。
マークの設定を行います。



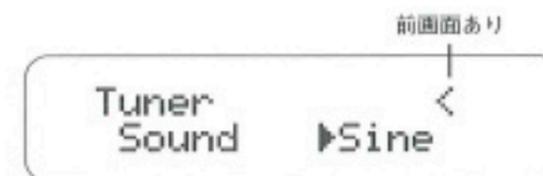
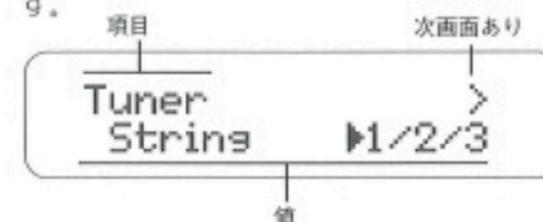
■ 16パート画面 (P.36- P.37)

[選曲] ボタンを押しながら、[2] ボタンを押すと表示されます。
パートごとの操作を行います。
この画面で行った設定は、基本画面に戻ると解除されます。



■ 設定画面 (P.41- P.42 他)

さまざまな設定を行います。
ある設定を複数の項目で変更できるときは、画面の右上に矢印が表示されます。
矢印の方向の[◀ (巻戻し)]または[▶ (早送り)] ボタンを押すと、画面が切り替わり、[▲]または[▼] ボタンで値を変更します。



メモ

[Err] で始まるメッセージが表示されたら、「エラー表示/その他の表示」(P.44) をご覧ください。

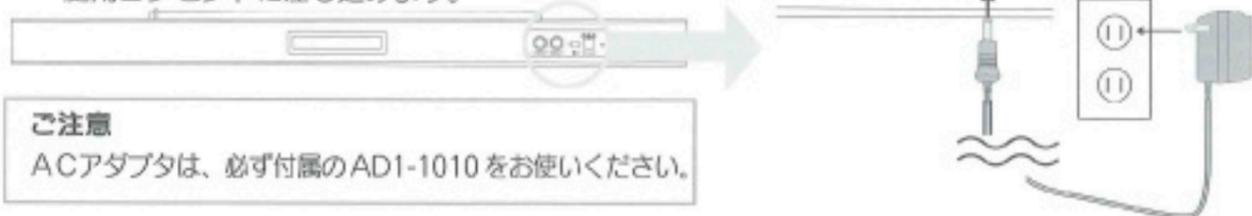
ご注意

本書では、画面を使用して機能説明をしていますが、工場出荷時の設定(音色名など)と本文中の画面上の設定は一致していません。あらかじめご了承ください。

第1章 演奏する前に

■ACアダプタを接続しましょう

- ① ACアダプタを、ACアダプタ端子に接続して、家庭用コンセントに差し込みます。



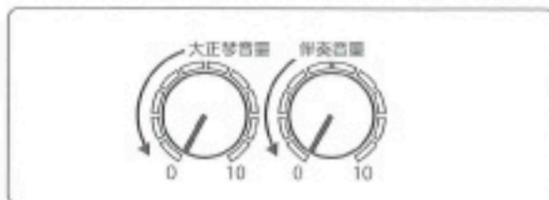
ご注意
ACアダプタは、必ず付属のAD1-1010をお使いください。

■電源の入れかた／切りかた

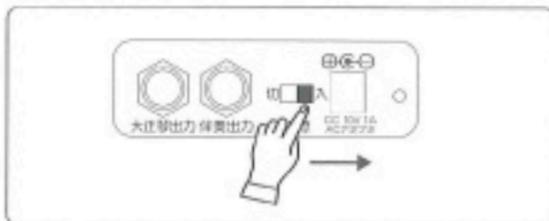
必ず次の手順で電源を入れたり、切ったりしてください。手順を間違えると、誤動作をしたり、スピーカーなどが破損する恐れがあります。

電源を入れる

- ① [大正琴音量] と [伴奏音量] つまみをいちばん左側に回して、音量を最小にします。音量を絞ってから電源を入れてください。音量を絞っても、電源を入れるときに音がすることがありますが、故障ではありません。



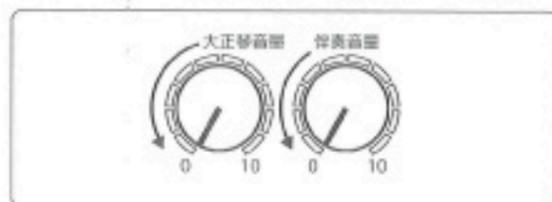
- ② 電源スイッチを右に動かして、「あゆ」の電源を入れます。



適当な音量に調節してください。

電源を切る

- ① [大正琴音量] と [伴奏音量] つまみをいちばん左側に回して、音量を最小にします。

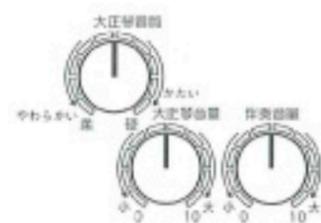


- ② 電源スイッチを左に動かして、「あゆ」の電源を切ります。

ご注意
本機は、回路保護のため電源を入れてから動作するまでに3秒程かかります。

■音量・音質を調節しましょう

- ① [大正琴音量] つまみで大正琴の音量、[伴奏音量] つまみで伴奏の音量を調節します。右側に回すと音が大きくなり、左側に回すと音が小さくなります。
- ② [大正琴音質] つまみで大正琴の音質を調節します。右側に回すと音が硬くなり、左側に回すと音が柔らかくなります。



■ヘッドホン(別売り)を接続しましょう



- ① 伴奏出力端子にヘッドホン(別売り)を接続します。本体スピーカーからは音が出なくなります。ヘッドホンからのみ音が出ます。ヘッドホンの音量は、「あゆ」本体の[伴奏音量]と[大正琴音量]つまみで調節します。

ご注意
ステレオ・タイプのヘッドホン接続した場合、左右からは伴奏の音、右からは大正琴の音が重なって鳴ります。モノラル・タイプのヘッドホン接続した場合、左右から伴奏の音が鳴ります。

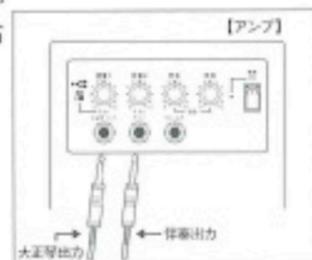
●ヘッドホンご使用上の注意

- ・コードの断線の原因になりますので、ヘッドホンは、本体またはプラグ部分を持って取り扱ってください。
- ・接続の際、使用機器の音量が上がっているとヘッドホンを壊す恐れがあります。音量を最小にしてから接続してください。
- ・過大入力で使用すると、音がはずんで聞こえたり、耳を痛めるだけでなく、ヘッドホンにも無理がかかります。適当な音量でお楽しみください。

■外部アンプに接続しましょう

「あゆ」を外部アンプ(別売り)と接続すると、大音量で演奏が楽しめます。

- ① 「あゆ」と外部アンプの電源を切ります。
- ② 接続コードを大正琴出力端子または伴奏出力端子に接続します。
- ③ 接続コードのもう片方を外部アンプの入力端子に差し込みます。
[例]SPA-40の場合
- ④ 「あゆ」の電源を入れます。
- ⑤ 外部アンプの電源を入れます。
- ⑥ 「あゆ」の[大正琴音量]と[伴奏音量]つまみを真ん中位にして、弾きながら外部アンプの音量を調節します。
- ⑦ 「あゆ」の[大正琴音量]と[伴奏音量]つまみをお好みの位置に調節します。



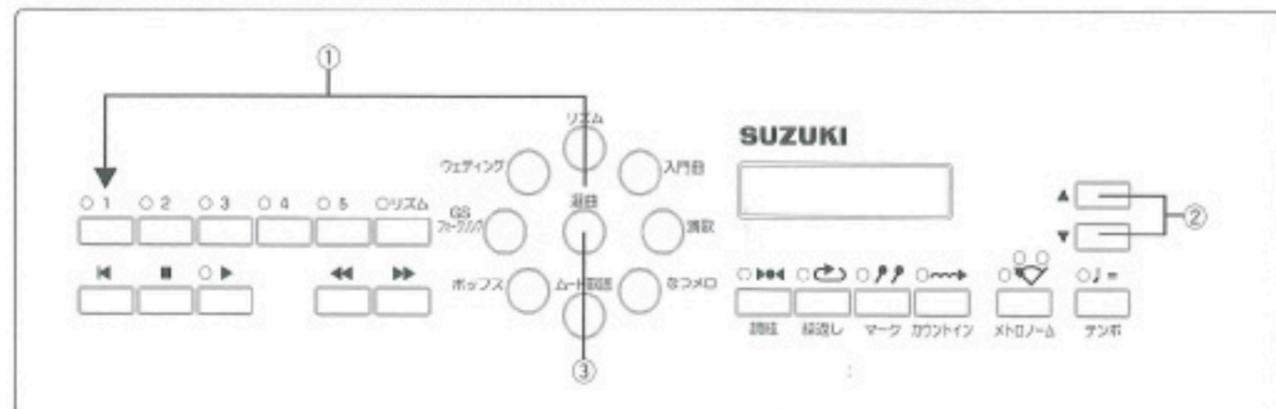
ご注意
伴奏出力端子の使用中は、本体のスピーカーからは音が出ませんが、大正琴出力端子の使用中は、本体のスピーカーからも音が出ます。

■お使いの楽器と音の高さを合わせましょう (チューニング)

お使いの楽器と「あゆ」の基準ピッチを合わせて、美しい響きで演奏しましょう。
基準ピッチを合わせることを「チューニング」といいます。

●基準ピッチとは？

一般的に中央Aの音の高さ(ピッチ)のことを「基準ピッチ」といいます。



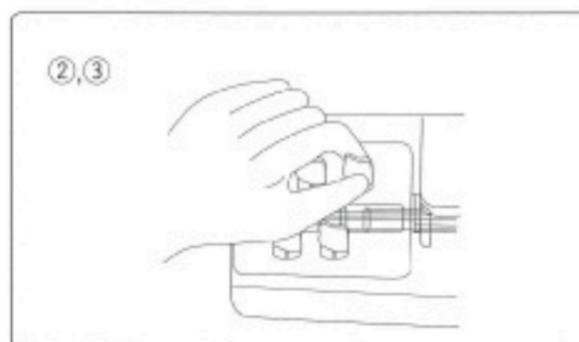
- ① [選曲] ボタンを押しながら、[1] ボタンを押します。
次のような、チューニング画面になります。

Master Tune
▶440Hz

- ② [▲] [▼] ボタンで、基準ピッチの値を変えます。
430 Hz ~ 450 Hz (1Hz単位) で変えることができます。
電源投入時は、「440 Hz」に設定されています。
[▲] と [▼] ボタンを同時に押すと、「440 Hz」に戻ります。
- ③ チューニングが終わったら、[選曲] ボタンを押します。
基本画面が表示されます。

■調弦をしましょう

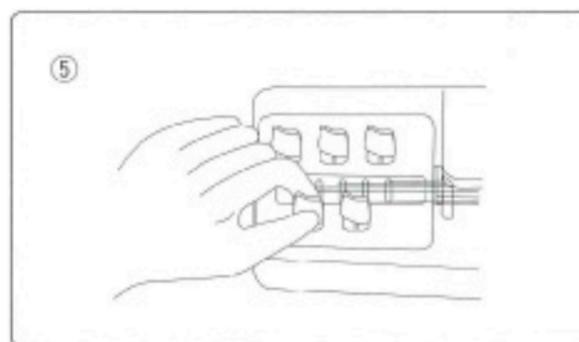
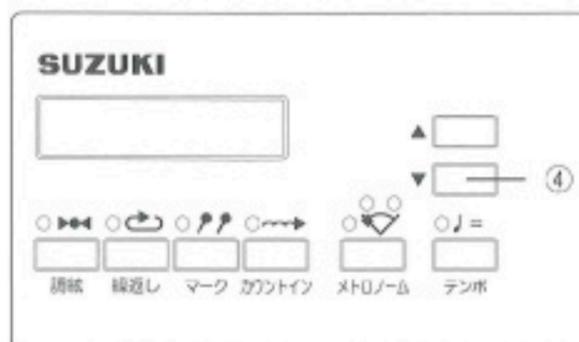
大正琴を演奏する前に調弦をして、美しい響きで演奏しましょう。



- ① [▶◀ (調弦)] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
次のような、調弦画面になり、調弦音が鳴ります。
調弦音の音量は、[伴奏音量] つまみで調節します。

Tuner Strings ▶1/2/3

- ② 第1弦を弾きながら、絃巻を調節して、調弦音に合わせます。
- ③ 同じように、第2弦と第3弦も絃巻を調節して、調弦音に合わせます。

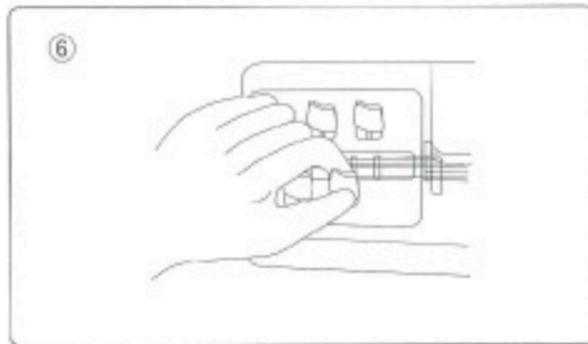


- ④ [▼] ボタンを押して、第4弦と第5弦を調弦する画面に切り替えます。

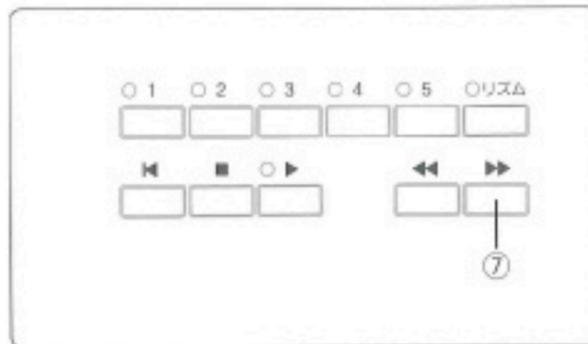
Tuner Strings ▶4/5

- ⑤ 第4弦を弾きながら、絃巻を調節して、調弦音に合わせます。

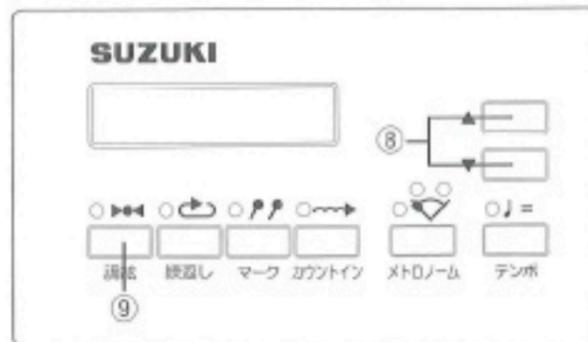
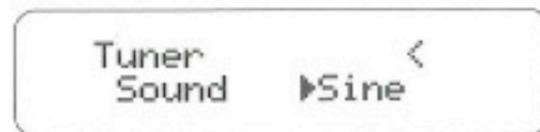
第2章 大正琴を弾いてみましょう



⑥ 同じように、第5弦も弦巻を調節して、調絃音に合わせます。



⑦ 調絃音の音色を変えたい場合は、[▶▶ (早送り)] ボタンを押します。次のような、調絃画面になります。



⑧ [▲] [▼] ボタンで、調絃音の音色を変えます。「Sine (サイン波)、Square (矩形波)」

⑨ 調絃が終わったら [▶◀ (調絃)] ボタンを押して、ランプを消灯させます。調絃音が止まり、基本画面が表示されます。

メモ

Tuner Strings ▶ 5 (▼)

この調絃画面のときは、

Tuner Strings ▶ 4/5

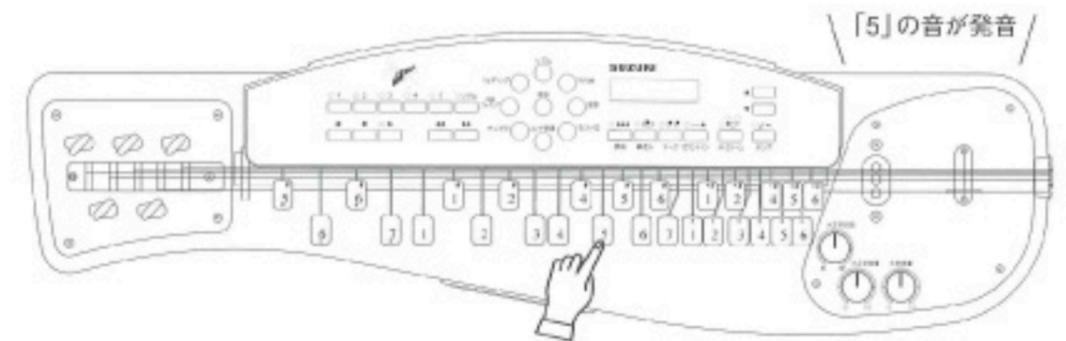
この画面の時より1オクターブ下の音が出ます。

大正琴では通常、第1弦から第4弦までを同時に弾いて演奏します。第1弦から第3弦までは同じオクターブで、美しい響きをつくります。第4弦はそれより1オクターブ下で、音に厚みを加えます。第5弦は「ベース弦」とも呼ばれ、鍵盤では音程が変わりません。



■ 絃の弾きかた

鍵盤を押さえてピックで絃を弾くと、音が鳴ります。絃を弾く強さによって、音の強弱が変化します。



例: 「5」の鍵盤を押しながら、絃を弾く。

■ピックの持ちかたと右手の置きかた

「あゆ」の演奏にはピックが必要ですが。

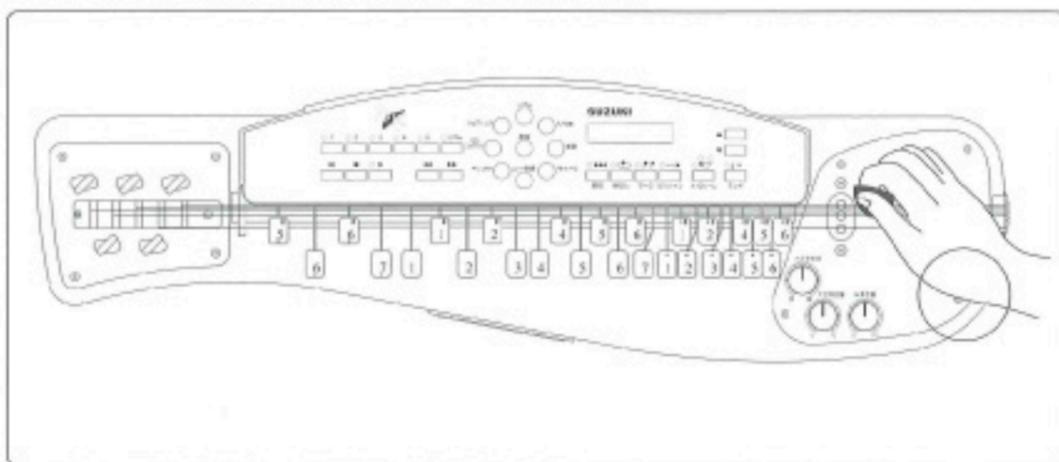
●ピックの持ちかた

右手人さし指と中指を寄せ、軽く曲げ、その上にピックをのせます。
ピックをつまむような形で親指をのせて、軽く押さえます。
薬指、小指は内側に曲げます。



●右手の置きかた

右手首をボリュームパネルの右端手前に軽くのせ、
ピックが弦に垂直にあたるようにします。
手首を中心（支点）にして、大きく弧を描くように弦を弾きます。

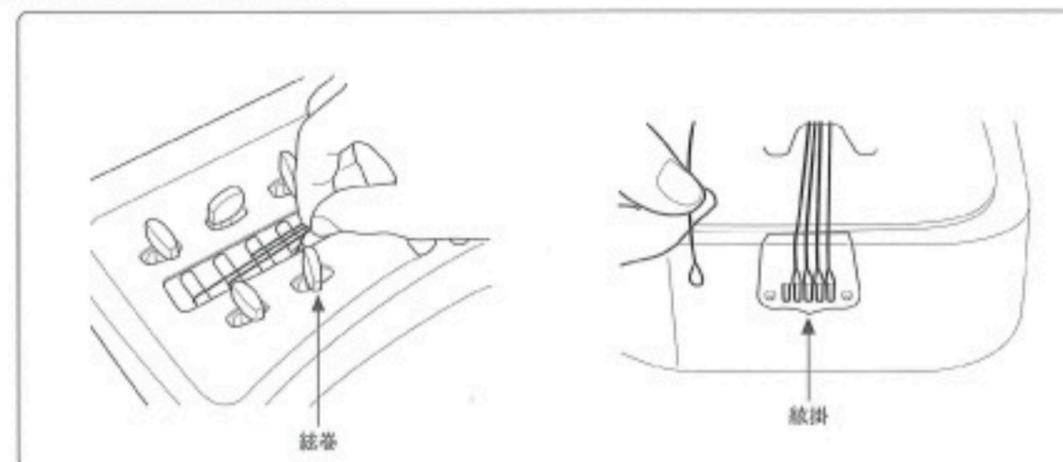


■弦の張り替えかた

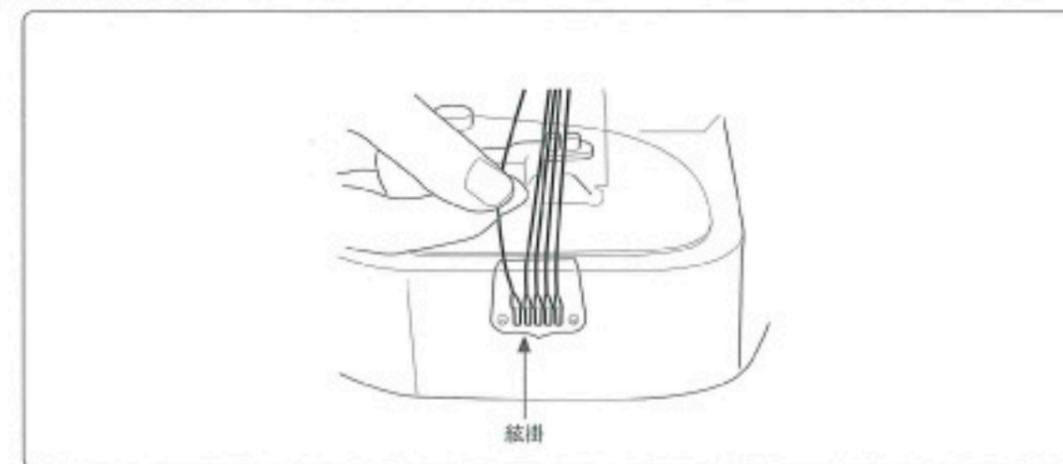
弦を張り替える場合は、以下の手順で行なってください。
なお、交換用の弦は下表のものをご使用ください。

弦	種類
第1弦、第2弦、第3弦	蘭用 1-3 絃用
第4弦	蘭用 4 絃用
第5弦	蘭用 5 絃用

① 古い弦を絃掛と絃巻から取り外します。



② 新しい弦を絃掛にかけます。



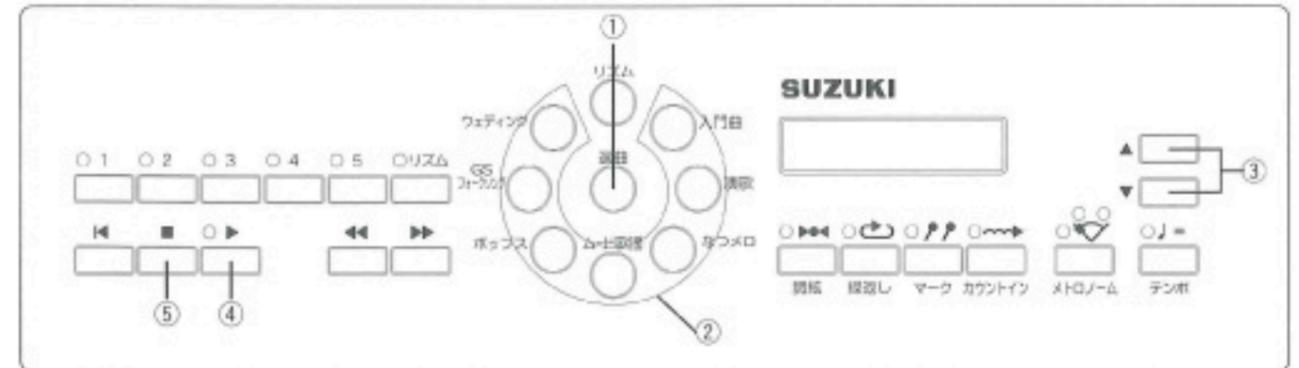
第3章 伴奏曲をきいてみましょう

「あゆ」に内蔵されている曲をきいてみましょう。

「あゆ」には、様々な音楽ジャンルから厳選した90曲が内蔵されています。

■内蔵曲をきいてみましょう

曲を鳴らしたり、止めたりしてみましょう。曲を鳴らすことを「再生」といいます。



① [選曲] ボタンを押します。

画面上段にジャンル番号、曲番号、曲名が表示されます。

この画面を基本画面といいます。



② いずれかのジャンル・ボタンを押して、曲のジャンルを選びます。

曲のジャンルは、次の7つのボタンから選ぶことができます。

ジャンル番号	ジャンル・ボタン
1	[入門曲]
2	[演歌]
3	[なつメロ]
4	[ムード歌謡]
5	[ポップス]
6	[GSフォークソング]
7	[ウェディング]

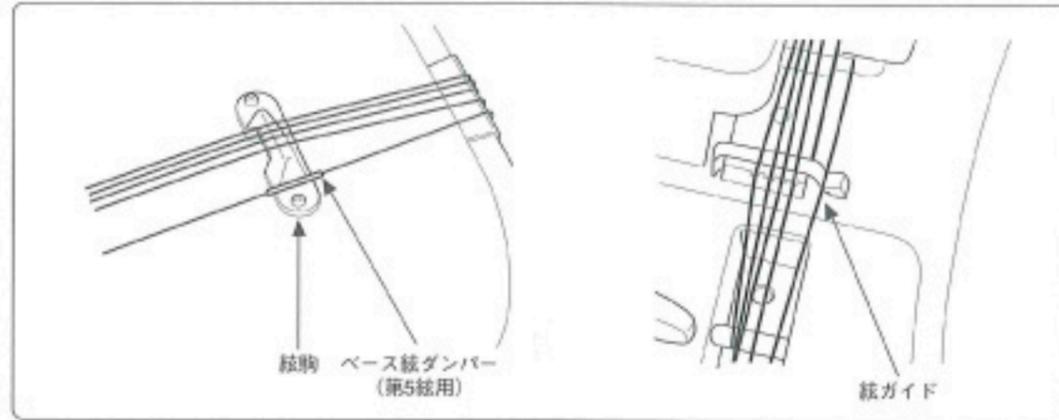
ご注意

[リズム] ボタンは、内蔵リズムを再生するときに使用します。(P.25)

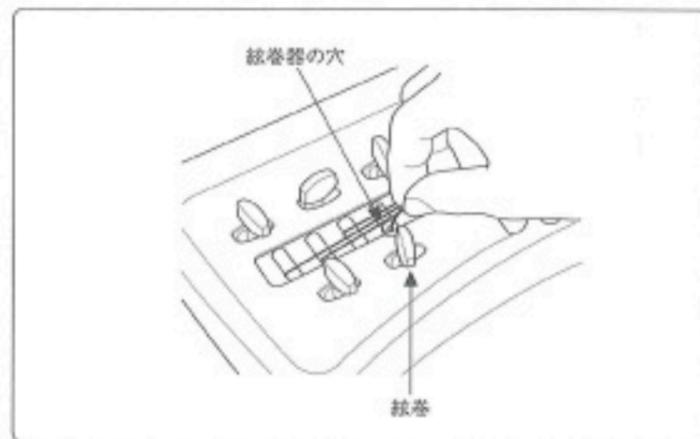
③ 絢を絢駒と絢ガイドの溝に通します。

※第5絢を張り替える場合は、

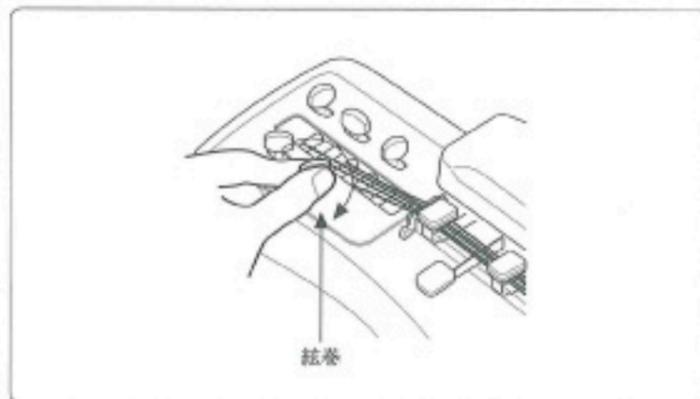
絢にベース絢ダンパーを通してから、絢駒の溝に通します。



④ 絢を絢巻器の穴に通します。



⑤ 絢巻を時計回りに回して、絢を張ります。



⑥ 絢の張り替えが終わったら、調絢機能 (P.13) を使って調絢をしましょう。

③ [▲] [▼] ボタンを押して、曲を選びます。

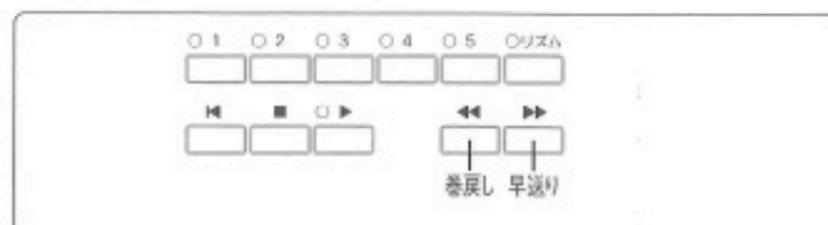
④ [▶] (再生) ボタンを押します。
曲の再生が始まります。
曲の最後まで再生されると、自動的に曲が止まります。

⑤ 曲を止めるときは、[■] (停止) ボタンを押します。

メモ

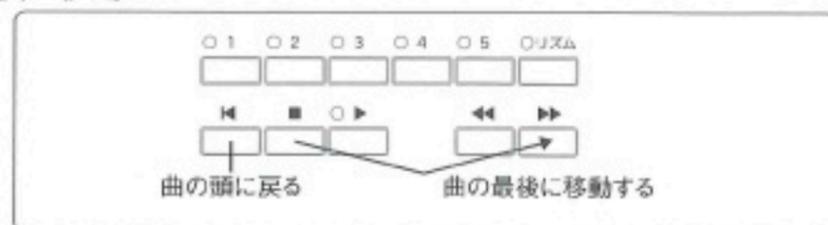
弱起の曲 (1 拍目以外で始まる曲) を再生すると、画面の小節番号は「-1」「1」「2」・・・と表示されます。

巻戻し、早送り



① [◀◀] (巻戻し) または [▶▶] (早送り) ボタンでききたい小節に移動します。
ボタンを1回押すと、1小節移動します。ボタンを押し続けると、連続的に早送り、巻戻しをすることができます。
曲の再生中にも、巻戻しや早送りをすることができます。

曲の先頭や最後に移動する



① [◀] (曲の頭) ボタンを押すと、曲の先頭へ戻ります。

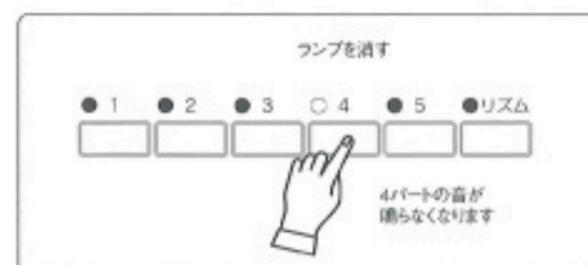
② [■] (停止) ボタンを押しながら、
[▶▶] (早送り) ボタンを押すと、曲の最後に移動します。

■パート演奏をしましょう

「あゆ」に内蔵されている曲は、パートごとに再生することができますので、「主旋律のパートを消して伴奏に合わせて弾く」、「小さく聞こえる伴奏パートの音をガイドにして弾く」というように練習することができます。

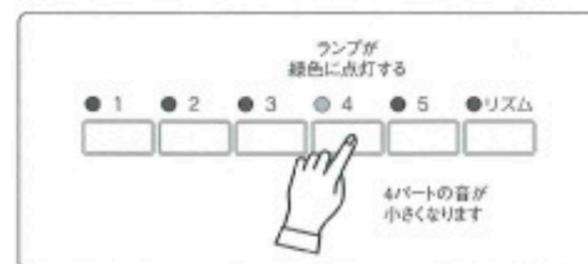
音が割り当てられているパート・ボタンのランプは、赤色に点灯します。
音が割り当てられないパート・ボタンは点灯しません。

① ランプが赤色に点灯しているパート・ボタンを押して、ボタンのランプを消灯させます。

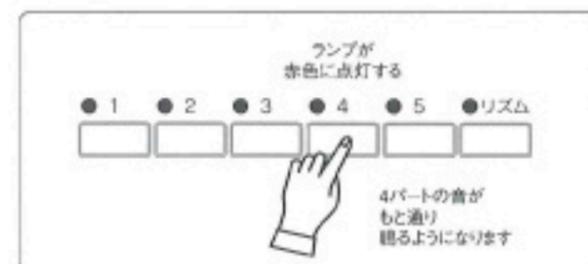


② [▶] (再生) ボタンを押します。
ランプが赤色に点灯しているパート・ボタンの音は鳴りますが、ランプの消灯しているパート・ボタンの音は鳴りません。
このように、特定のパートの音を一時的に鳴らないようにすることを、「ミュート」といいます。

③ もう一度、ランプの消灯しているパート・ボタンを押すと、ランプが緑色に点灯します。
音が小さくなります。



④ もう一度、ランプが緑色に点灯しているパート・ボタンを押すと、ランプが赤色に点灯します。
もと通りに、音が鳴ります。



このように、パート・ボタンのランプは、押すごとに消灯 (音が鳴らない) → 緑色 (音が小さくなる) → 赤色 (音が鳴る) → 消灯 (音が鳴らない) を繰り返します。

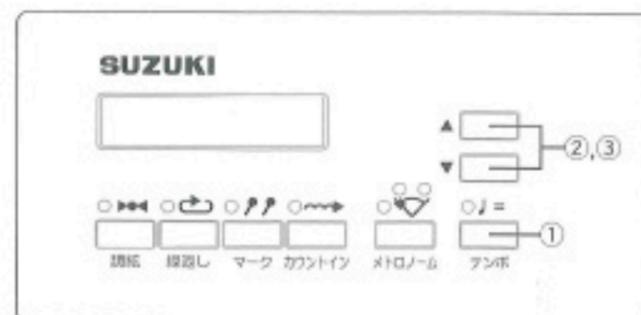
⑤ 曲の再生を止めるときは、[■] (停止) ボタンを押します。

この機能を利用して、パートごとの練習をしてみましょう。

■テンポを変えてみましょう

テンポが速くて弾くのが難しい曲は、まず弾きやすいテンポにおとして練習し、慣れてきたら少しずつテンポをあげて練習すると効果的です。

テンポを変えても音の高さは変わりません。また、テンポは曲の再生中でも変えることができます。



- ① [♪= (テンポ)] ボタンを押します。
画面のカーソル (▶) が、テンポ表示に移動します。

1- 1: コウジョウノツキ
1 4/4 ♪= 72

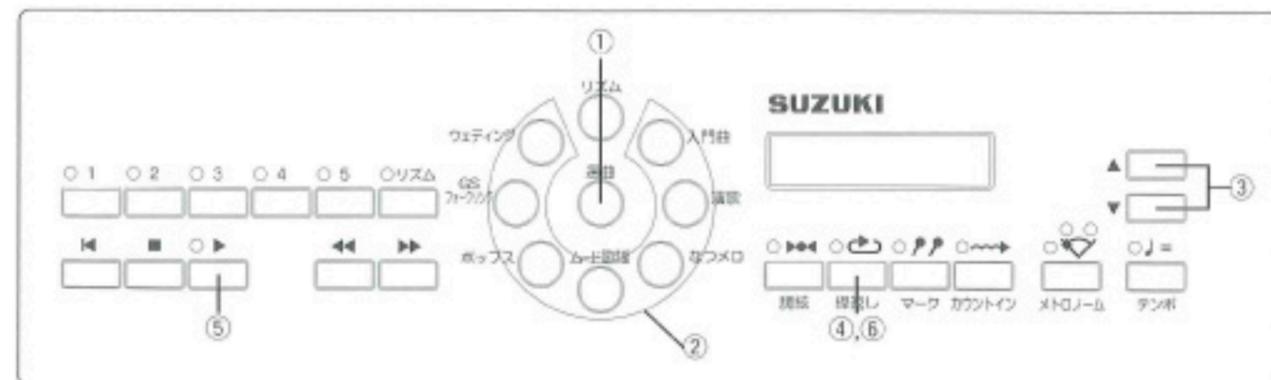
- ② [▲] [▼] ボタンで、テンポを調節します。
[▲] ボタンを押すと、1 ずつテンポが早くなります。押し続けると、連続的に早くなります。
[▼] ボタンを押すと、1 ずつテンポが遅くなります。押し続けると、連続的に遅くなります。
- ③ 元のテンポに戻すときは、[▲] [▼] ボタンを両方同時に押します。

■ボタンを押す間隔でテンポを変えてみましょう (タッチテンポ)

ボタンを押す間隔でテンポを決めることができます。
この機能を「タッチテンポ」といいます。

- ① [♪= (テンポ)] ボタンを変えたい速さで数回押します。
ボタンを押した間隔でテンポが設定されます。

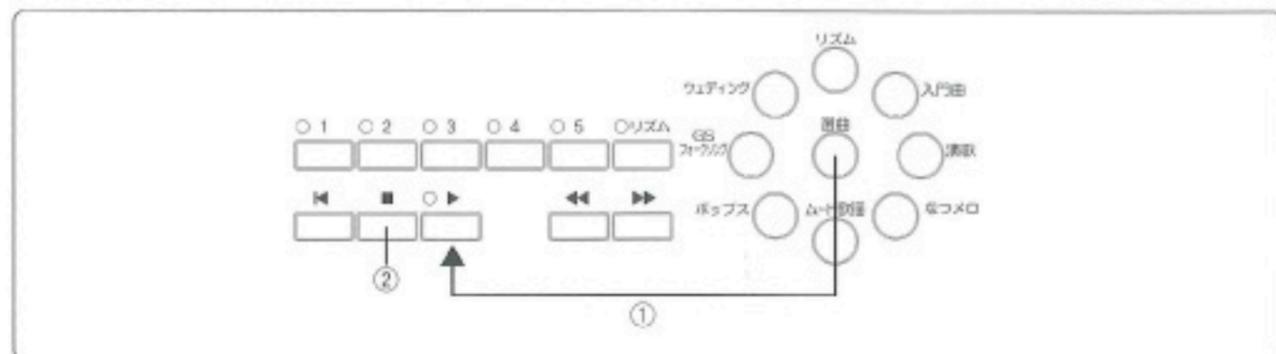
■1 曲を繰り返してきいてみましょう



- ① [選曲] ボタンを押します。
- ② いずれかのジャンル・ボタンを押して、曲のジャンルを選びます。
- ③ [▲] [▼] ボタンを押して、曲を選びます。
- ④ [↺ (繰り返し)] ボタンを押してランプを点灯させます。
選んでいる曲を繰り返し再生する設定になります。
- ⑤ [▶ (再生)] ボタンを押します。
繰り返し再生が始まります。
- ⑥ 繰り返しを解除するときは、[↺ (繰り返し)] ボタンを押してランプを消灯させます。

■すべての曲を連続してきいてみましょう（オール・ソング・プレイ）

内蔵されているすべての曲を順に演奏し、[ウェディング]の最後の曲が終わったら、また[入門曲]の1曲目に戻って演奏することができます。このような機能を「オール・ソング・プレイ」といいます。



- ① [選曲] ボタンを押しながら、[▶] (再生) ボタンを押します。選ばれている曲から、再生が始まります。[ウェディング]の最後の曲まで再生が終わると、また[入門曲]の最初の曲に戻って再生が始まります。オール・ソング・プレイ中は、画面上段の曲番号と「ALL」の表示が交互に表示されます。

ALL : コウショウノツキ
 ♪ 1 4/4 ♪♩ = 72

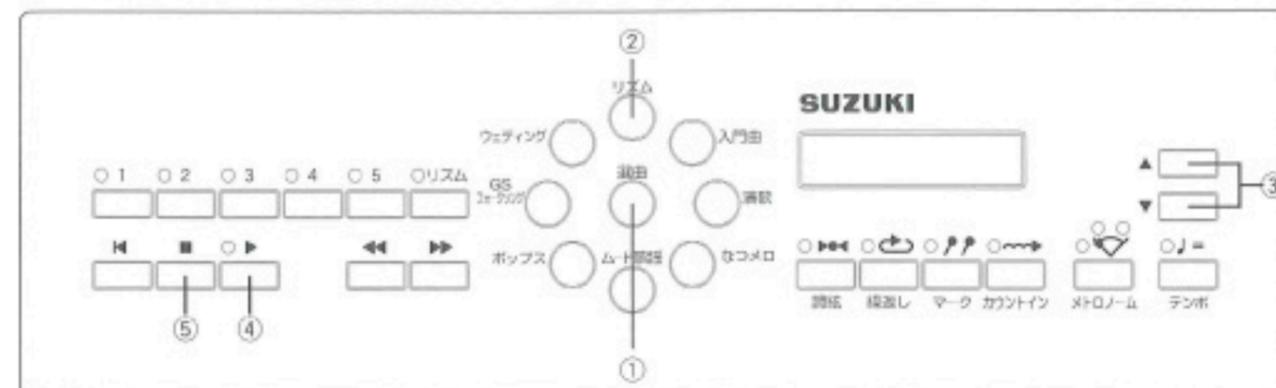
- ② [■] (停止) ボタンを押すと、曲の再生が止まります。演奏を止めると、オール・ソング・プレイは解除されます。

メモ

内蔵されている曲の順番にかかわらず、ランダム（無作為）な順番で曲を演奏することができます。詳しくは、「ランダムな曲順で全曲再生してみましょう」(P.42) をご覧ください。

■内蔵リズムをきいてみましょう

「あゆ」に内蔵されているリズムをきいてみましょう。「あゆ」には、26種類のリズムが内蔵されています。



- ① [選曲] ボタンを押します。
- ② [リズム] ボタンを押します。次のようなリズム画面が表示されます。



画面上段にリズム番号とリズム名が表示されます。

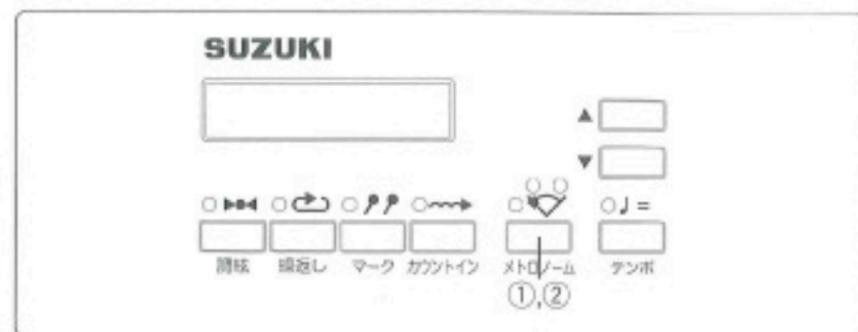
- ③ [▲] [▼] ボタンを押して、リズムを選びます。
- ④ [▶] (再生) ボタンを押します。リズムの再生が始まります。
- ⑤ リズムを止めるときは、[■] (停止) ボタンを押します。

ご注意

「オール・ソング・プレイ」は、[リズム] ボタンの内蔵リズムには効きません。

第4章 メトロノームを鳴らしましょう

メトロノームは、ボタン1つで鳴らしたり止めたりすることができます。
テンポ感がつかめない時は、メトロノームを鳴らして練習してみましょう。
メトロノームは、曲の再生中には曲のテンポや拍子で鳴ります。



① [メトロノーム] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
メトロノームが鳴ります。

② メトロノームを止めるときは、[メトロノーム] ボタンを押してランプを消灯させます。

■メトロノームのテンポを変えてみましょう

① [テンポ] ボタンを押します。
カーソル (▶) が、テンポ表示に移動します。

1- 1: コウジョウノツキ
1 4/4 ▶ \downarrow = 72

② [▲] [▼] ボタンでテンポを選びます。
[▲] と [▼] ボタンを同時に押すと、元のテンポに戻ります。

③ [メトロノーム] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
選んだテンポでメトロノームが鳴ります。

■メトロノームの音量を変えてみましょう

① [メトロノーム] ボタンを押したまま、[▲] [▼] ボタンを押します。
[メトロノーム] ボタンを押している間は、次のようなメトロノーム設定画面が表示されます。

Metronome
Volume ▶ 5

[▼] ボタンを押すと音が小さくなり、[▲] ボタンを押すと音が大きくなります。
ボタンを離すと、元の画面が表示されます。

メモ

メトロノームの音量設定はカウント音 (P.28) の音量にも反映されます。

■メトロノームの拍子を変えてみましょう

① [メトロノーム] ボタンを押します。
曲を再生しているときは、[停止] ボタンを押して曲を止めてから操作してください。
画面のカーソル (▶) が、拍子表示に移動します。

1- 1: コウジョウノツキ
1▶ 4/4 \downarrow = 72

② [▲] [▼] ボタンで拍子を選びます。

選べる拍子:

2/2、0/4 (弱拍の音だけ)、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、
6/8、9/8、12/8

ご注意

曲の再生中に拍子をかえることはできません。
また、曲を再生すると、メトロノームは曲の拍子で鳴ります。

第5章 より便利な機能

■カウント音を鳴らして演奏のタイミングを合わせましょう

カウント音を鳴らしてから曲やリズムを再生することを「カウントイン」といいます。曲に合わせて演奏するときなど、カウント音を鳴らすことで、曲と自分の演奏のタイミングを合わせやすくなります。



- ① [~~~~> (カウントイン)] ボタンを押して、ランプを点灯させます。
- ② [▶ (再生)] ボタンを押します。
1 小節のカウント音が鳴ったあと、
曲を選んだ場合は曲が、リズムを選んだ場合はリズムが再生されます。
- ③ カウント音を解除するときは、[~~~~> (カウントイン)] ボタンを押してランプを消灯させます。

メモ

カウントする小節数と繰り返しの設定を変えることができます。
「カウントインの設定を変えてみましょう」(P.41) をご覧ください。

メモ

メトロノームの音量設定 (P.27) は、カウント音の音量にも反映されます。

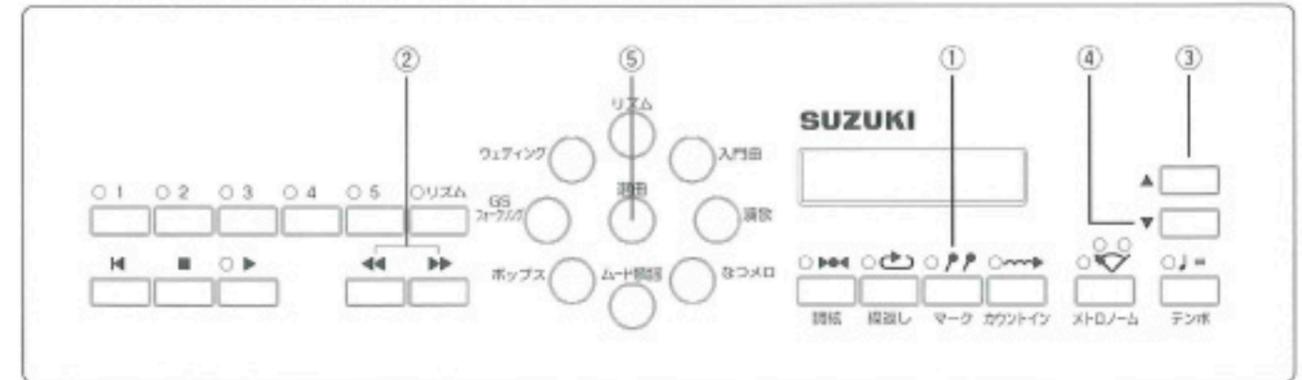
ご注意

曲やリズムの再生中に、曲やリズムを選んだ場合は、
[~~~~> (カウントイン)] ボタンのランプが点灯していても、カウント音は鳴りません。

■繰り返し練習したいところにマークをつけましょう

繰り返し練習したいところにマークをつけておけば、簡単に小節を移動したり、2 つのマーク間を自動的に繰り返し演奏をすることができます。

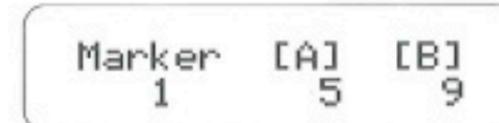
マークは、曲中に2箇所 (A、B) つけることができます。



- ① [●● (マーク)] ボタンを押します。
次のようなマーク画面が表示されます。



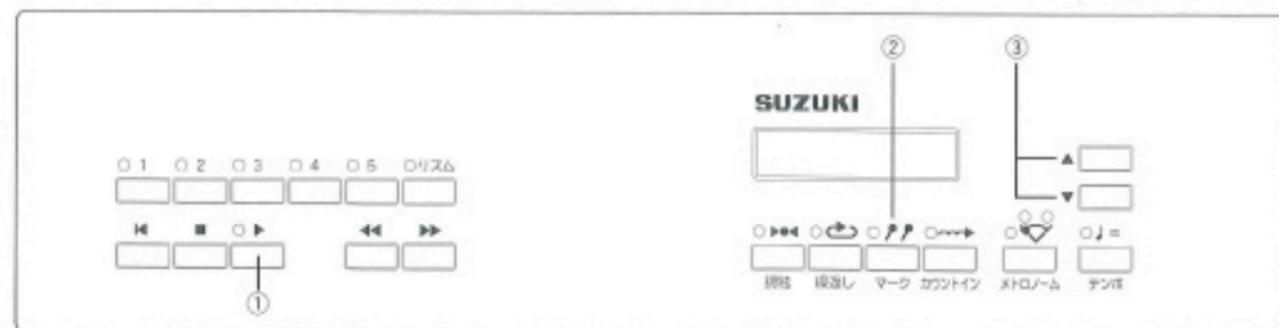
- ② [◀◀ (巻戻し)] または [▶▶ (早送り)] ボタンで、マークをつけたい場所へ移動します。
- ③ [▲] ボタンを押すと、曲中にマーク A がつきます。
- ④ 同じように小節を移動して [▼] ボタンを押すと、マーク B がつきます。
マーク B は、マーク A と同じ場所やマーク A より前の位置につけることはできません。



曲を再生しながら、[▲] または [▼] ボタンを押しても、マークをつけることができます。
マークをつけると、[●● (マーク)] ボタンのランプが点灯します。

- ⑤ [選曲] または [●● (マーク)] ボタンを押すと、基本画面に戻ります。

■マークをつけた位置から再生しましょう



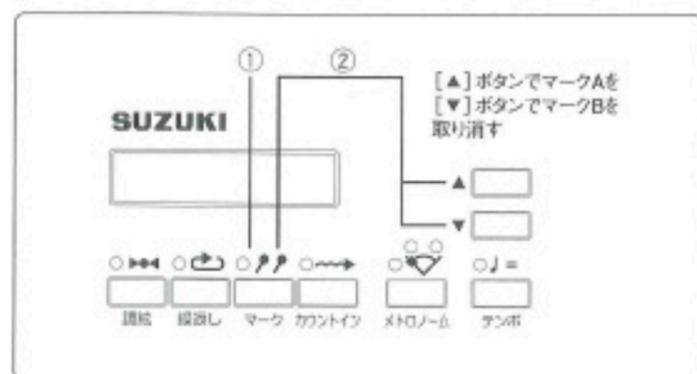
①まず、[▶] (再生) ボタンを押して、再生を始めます。

②次に [●●] (マーク) ボタンを押します。
マーク画面が表示されます。
あらかじめ、マークA、Bを決めておきます。

Marker	[A]	[B]
1	5	9

③ [▲] ボタンを押すと、マークAに移動して再生します。
[▼] ボタンを押すと、マークBに移動して再生します。

■マークを取り消しましょう



① [●●] (マーク) ボタンを押します。
マーク画面が表示されます。

② [●●] (マーク) ボタンを押しながら [▲] ボタンを押すと、マークAを取り消します。
[●●] (マーク) ボタンを押しながら [▼] ボタンを押すと、マークBを取り消します。

■マーク間を繰り返し再生しましょう



① [●●] (マーク) ボタンを押します。
マーク画面が表示されます。あらかじめマークA、Bを決めておきます。

② [↺] (繰り返し) ボタンを押して、ランプを点灯させます。
繰り返し演奏する設定になります。

③ [▶] (再生) ボタンを押して、再生を始めます。
マークAとマークBの間を繰り返し演奏します。

マークAだけつけて繰り返し演奏するときは…
マークAから曲の最後までを繰り返し再生します。

マークBだけつけて繰り返し演奏するときは…
曲の頭からマークBまでを繰り返し再生します。

メモ

[↺] (カウントイン) ボタンのランプが点灯しているとき、繰り返しの最初だけカウント音が鳴ります。これを、繰り返しの度に鳴るようにすることができます。
「カウントインの設定を変えてみましょう」(P.41) をご覧ください。

■つけたマークを移動しましょう



① [(マーク)] ボタンを押します。
マーク画面が表示されます。

② [] ボタンを押しながら、[(巻戻し)]
または [(早送り)] ボタンを押すと、マークA が移動します。

[] ボタンを押しながら、[(巻戻し)] または [(早送り)] ボタンを押すと、マークB が移動します。

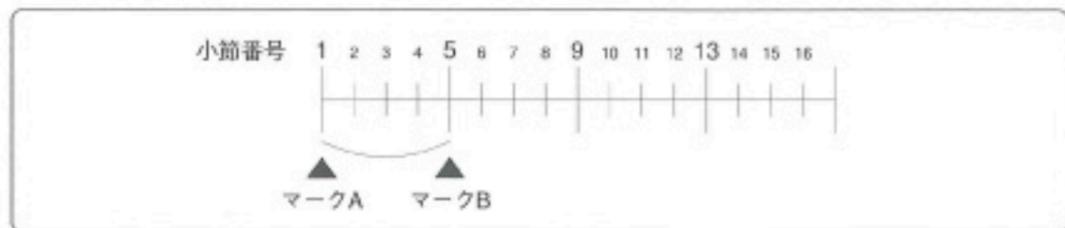
[(巻戻し)] または [(早送り)] ボタンを1回押すと、前後に1小節ずつ移動します。ボタンを押し続けると、連続して移動します。

マークA とマークB を同時に移動する

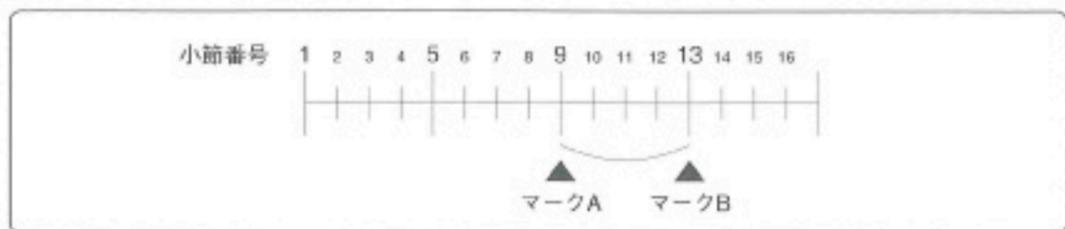
① [(マーク)] ボタンを押したまま、[(巻戻し)]
または [(早送り)] ボタンを押します。
マーク画面が表示され、マークA とB が同時に移動します。

例えば、5小節目の頭にマークA、9小節目の頭にマークBをつけた場合は・

・ [(巻戻し)] ボタンを押すと、マークA は1小節目の頭に、マークB は5小節目の頭に移動します。



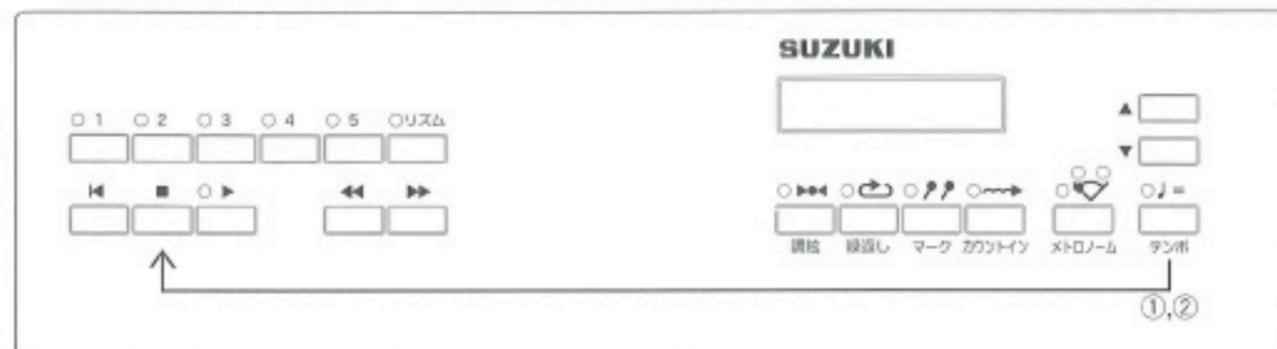
・ [(早送り)] ボタンを押すと、マークA は9小節目の頭に、マークB は13小節目の頭に移動します。



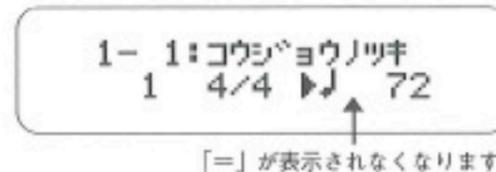
テンポ変化のない演奏にして練習しましょう

途中でテンポが変化する曲を、一定のテンポにして練習してみましょう。

テンポの変化をなくして、一定のテンポで再生することを「テンポ・ミュート」といいます。



① [(テンポ)] ボタンを押しながら、[(停止)] ボタンを押します。
画面が次のようになり、一定のテンポで再生されます。



「=」が表示されなくなります

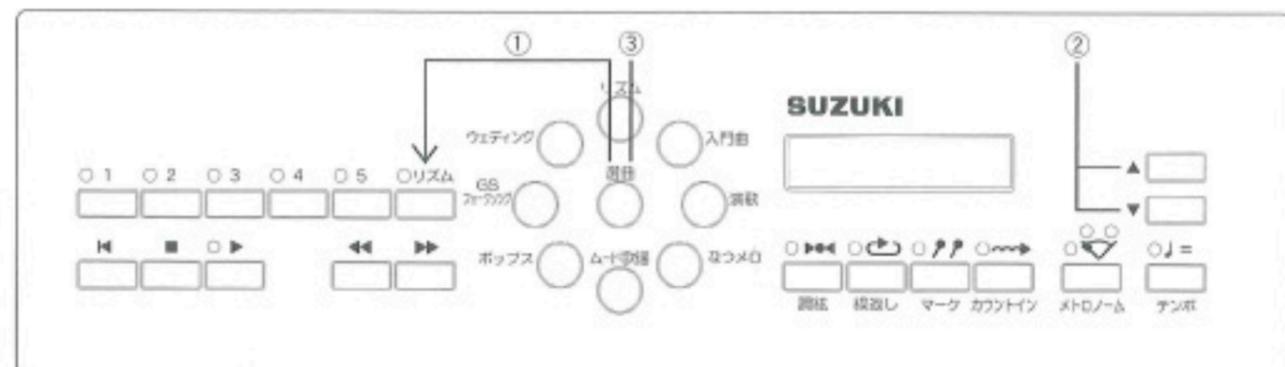
弾きやすいテンポに設定して、練習しましょう。

② テンポ・ミュートを解除するときは、[(テンポ)] ボタンを押しながら、
[(停止)] ボタンを押します。

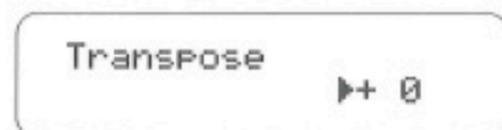
調を変えてみましょう

曲を移調して再生することができます。

お手持ちの楽譜とミュージックデータの調が違っていても、「あゆ」の演奏を移調すれば、簡単に音を含わせることができます。



- ① [選曲] ボタンを押しながら、[リズム] ボタンを押します。
次のような画面が表示されます。



- ② [▲] [▼] ボタンで移調の値を設定します。
-24 ~ +24 (半音単位) で設定することができます。
[▲] と [▼] ボタンを同時に押すと、0に戻ります。

例えば、二長調 (D) の曲を八長調 (C) に変えたいときは、-2 に設定します。

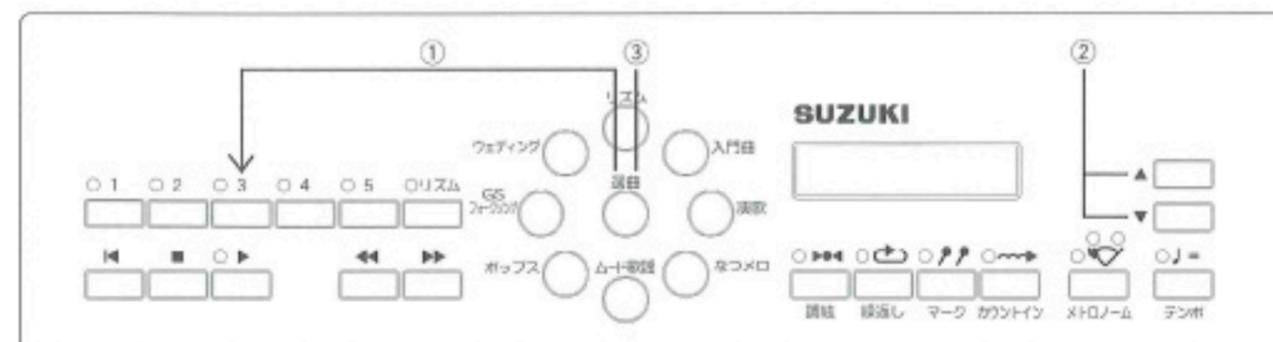
- ③ [選曲] ボタンを押すと、基本画面に戻ります。

演奏の響きを変えてみましょう (リバーブ効果)

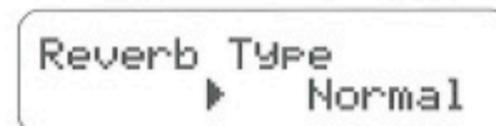
ミュージックデータを再生するときの、リバーブ効果 (残響) のかかりかたを選ぶことができます。

リバーブ効果とは?

残響のことをリバーブ効果といいます。リバーブ効果がかかっていると、コンサート・ホールで演奏しているような、心地よい響きが得られます。



- ① [選曲] ボタンを押しながら、[3] ボタンを押します。
次のようなリバーブ設定画面が表示されます。



- ② [▲] または [▼] ボタンで、リバーブ効果のかけかたを選びます。

表示	解説
Normal	ミュージックデータに設定されているリバーブを有効にします。
Mute	リバーブ効果をかけずに曲を鳴らします。

- ③ [選曲] ボタンを押すと、基本画面に戻ります。

特定の楽器の演奏をきいてみましょう

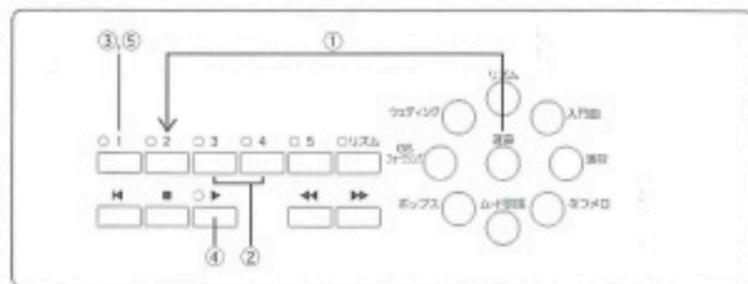
市販のSMF ミュージックデータは、通常、16のパートで構成されており、各パートには1つ1つ異なる楽器の音が録音されています。

この16のパートのうち、特定のパートを選んで再生したり、選んだパートをミュート（消音）することができます。

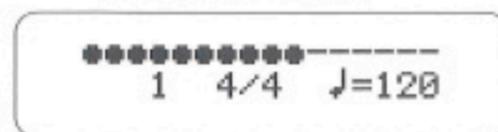
（1つのパートの音だけを再生しないようにすることを、「マイナス・ワン」といいます。）

■1つのパートだけを再生しましょう（ソロ）

パートを選んで、そのパートだけを再生することができます。伴奏の楽器の音を選んできいたり、練習するとき便利です。1つのパートだけを再生することを「ソロ」と言います。

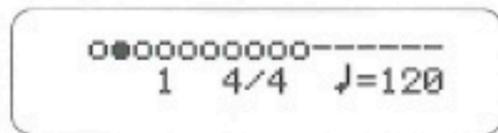


- ① [選曲] ボタンを押しながら、[2] ボタンを押します。
次のような16パート画面が表示されます。



表示	解説
●	このパートを再生する
○	このパートを再生しない
-	音が入っていない

- ② [3] または [4] ボタンで、再生したいパートに移動します。
選択されているパートは、点滅します。
- ③ [1] ボタンを押します。
点滅しているパートだけに「●」が表示され、そのパートの音だけ再生する設定になります。

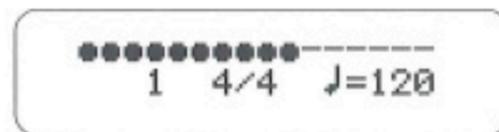


- [3] または [4] ボタンを押すと、点滅と一緒に、ソロのパートが移動します。
- ④ [▶ (再生)] ボタンを押して、曲を再生します。
選んだパートの音だけを再生します。
- ⑤ ソロを解除するときには、もう一度、[1] ボタンを押します。
全てのパートの音が鳴るようになります。

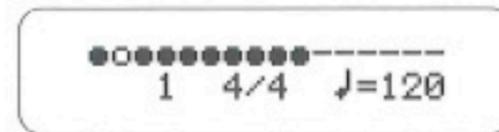
■特定のパートの音を鳴らなくしましょう（ミュート）

パートごとに再生する/しないを設定することができます。

- ① [選曲] ボタンを押しながら、[2] ボタンを押します。
次のような16パート画面が表示されます。



- ② [3] または [4] ボタンで、再生したいパートに移動します。
- ③ [2] ボタンまたは [▲] [▼] ボタンで、● (再生する)、○ (再生しない) を設定します。
[2] ボタンを押すと、●と○が切り替わります。
[▼] ボタンを押すと再生しない (○)、[▲] ボタンを押すと再生する (●) 設定になります。



- ④ [▶ (再生)] ボタンを押すと、曲が再生されます。
「○ (再生しない)」にしたパートの音は再生されません。そのパートを自分で演奏してみましょう。

■パートに割り当てられた音色名を表示してみましょう

各パートに割り当てられている音色名を表示することができます。

- ① [選曲] ボタンを押しながら、[2] ボタンを押します。
16パート画面が表示されます。

- ② [リズム] ボタンを押すと、音色名が表示されます。



もう一度 [リズム] ボタンを押すと、16パート画面に戻ります。

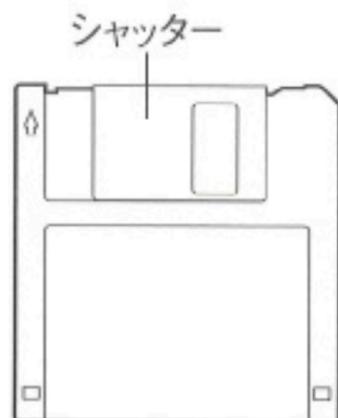
第6章 フロッピーディスクを使ってみましょう

■フロッピーディスクについて

「あゆ」は、2DD、2HDの3.5インチフロッピーディスクを使用して、曲やリズムを再生することができます。

■フロッピーディスクの取り扱い

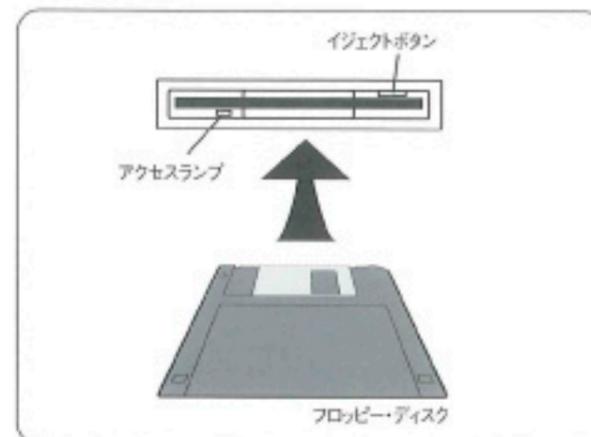
- フロッピーディスクにラベルを貼るときは、ラベルに内容を記入してから貼ってください。
- フロッピーディスクに重いものを乗せたり、クリップではさんだり、折り曲げたりしないように注意してください。
- フロッピーディスクのシャッターをスライドさせて、内部のディスク面に手を触れないでください。
- テレビ、スピーカー、マグネットキーなど、磁気を帯びたものから遠ざけてください。
- 直射日光の当たるところ、高温・低温のところに置かないでください。また、水やタバコなどの煙にも注意してください。
- ディスクドライブのアクセスランプが点灯しているときは、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。また、ディスクが入ったまま電源を切らないでください。データの破損だけでなく、本体の故障の原因となります。
- 本製品とフロッピーディスクを付属のソフトケースで運搬する場合には、帯磁を避けるため、ソフトケースの左側の付属品収納スペースにフロッピーディスクを入れて下さい。
- 大正琴出力端子に外部アンプを接続している場合は、フロッピーディスクからデータを読み込んでいるときに、「大正琴音量」つまみをいちばん左側に回して、音量を最小にしてください。



■フロッピーディスクの入れかた／取り出しかた

① フロッピーディスクの表を上側にして、ディスクドライブの挿入口に、カチッというまで差し込みます。

② ディスクを取り出すときは、イジェクトボタンを押します。



フロッピーディスクの端が挿入口から出てきます。フロッピーディスクの端を指でつまんで、静かに引き出してください。

ご注意

大正琴出力端子に外部アンプを接続している場合は、フロッピーディスクからデータを読み込んでいるときに、「大正琴音量」つまみをいちばん左側に回して、音量を最小にしてください。

■フロッピーディスクの曲やリズムをきいてみましょう

●曲の場合

曲データが入っているフロッピーディスクを入れると、画面の左上に「SD」が表示されます。

▶SD 1:マコ
- 1 4/4 ♩= 64

再生方法など、操作方法については、内蔵曲の操作方法と同様です。(P.19)

メモ

曲データが入っているフロッピーディスクについても、内蔵されているすべての曲を演奏する「オール・ソング・プレイ」ができます。(P.24、P.42)

●リズムの場合

リズムデータが入っているフロッピーディスクを入れると、画面の左上に「RD」が表示されます。

▶RD 1:インカ 1
4/4 ♩= 80

再生方法など、操作方法については、内蔵リズムの操作方法と同様です。(P.25)

■「あゆ」で使用できるミュージックデータについて

●「あゆ」対応のミュージックデータ

「あゆ」用に作られたSUZUKI独自のミュージックデータです。

●SMF ミュージックデータ (720KB / 1.44MB フォーマット)

SMF (スタンダードMIDI ファイル) はミュージックデータの形式をメーカーを越えて標準化することを目的としてつくられたデータ形式です。SMF ミュージックデータは、SMF 形式のミュージックデータの曲集で、鑑賞用、楽器練習用、カラオケ用など幅広いジャンルにわたって発売されています。

※ SMF ミュージックデータをご購入の際は、本機をお買い上げになった販売店にご相談ください。

「あゆ」の音源について

「あゆ」は、GM に適合した音源を搭載しています。



GM (General MIDI) とは、音源のMIDI機能の仕様を、メーカーを越えて標準化することを目的とした推奨規定です。GM に合致した音源やミュージックデータにはGM マークがついており、GM マークのついたミュージックデータは、GM マークつきの音源であればどれもほぼ同じ演奏表現ができます。

第7章 そのほかの機能

カウントインの設定を変えてみましょう

カウントインの設定を変えることができます。

- ① [選曲] ボタンを押しながら、[◀▶ (カウントイン)] ボタンを押します。
カウントイン設定画面が表示されます。

Count In Measure ▶ 1

- ② [◀◀ (巻戻し)] または [▶▶ (早送り)] ボタンを押して、設定する項目を選びます。

項目	解説
Count In Measure	カウントイン時のカウントする小節数
Count In Repeat	カウントイン時の繰り返しの設定

- ③ [▲] [▼] ボタンを押して、値を変えます。
設定できる値は、それぞれ次のようになります。

項目	値	解説
Count In Measure	1、2	電源投入時は「1」(1小節)に設定されています。
Count In Repeat	First	一番最初だけカウント音を鳴らす。電源投入時はこの設定です。
	Every	繰り返しの度にカウント音を鳴らす。

- ④ [選曲] ボタンを押して、基本画面を表示させます。

→ 「カウント音を鳴らして演奏のタイミングを合わせましょう」(P.28)、「マーク間を繰り返し再生しましょう」(P.31) 参照

ランダムな曲順で全曲再生してみましょう

ディスク、又は内蔵されているすべての曲を順に演奏し、最後の曲が終わったら、また1曲目に戻って演奏する機能を「オール・ソング・プレイ」といいます。

「オール・ソング・プレイ」で全曲再生する曲順を、ランダムに（無作為に）することができます。

- ① [選曲] ボタンを押しながら、[4] ボタンを押します。
次のような画面が表示されます。

All Song Play
Mode ▶Normal

- ② [▲] [▼] ボタンを押して、値を選びます。

値	解説
Normal	ディスク、又は内蔵曲に登録されている順番で再生します。
Random	ランダム（無作為）な順番で再生します。

- ③ [選曲] ボタンを押して、基本画面を表示させます。

→ 「すべての曲を連続してきいてみましょう（オール・ソング・プレイ）」(P.24) 参照

資料

故障と思う前に

故障かな？と思ったときは、まずお読みください。

現象	原因/対策
電源が入らない	ACアダプタが正しく接続されていますか？(P.10)
「あゆ」の音が出ない	[大正琴音量] と [伴奏音量] つまみが一番左側になっていませんか？(P.10) ヘッドホンを接続していませんか？(P.11)
音が抜ける	「あゆ」と他の機器は、正しく接続されていますか？(P.11) すべての機器の電源は入っていますか？ 「あゆ」の最大同時発音数は32音です。 ダンパー・ペダルを多用した曲を演奏していると発音数が32音を越えてしまうことがあります。発音数が32音を越えると音が抜けます。
曲が鳴らない	パート・ボタンのランプが消えていませんか？(P.21) ランプの消えているパート・ボタンの音は鳴りません。ボタンを押してランプを点灯させてください。
	ディスクドライブに曲の入っている フロッピーディスクが入っていますか？
フロッピー・ディスクの曲が、すぐに再生されない	容量の大きい曲データの場合、再生するまでに時間がかかる場合があります。
ある楽器の音だけが鳴らない	特定のパートの音を鳴らない設定にいませんか？(P.21)
早送りや巻戻しができない	フロッピーディスクから「あゆ」が曲を読み込んでいる間は、早送りや巻戻しをすることができません。 曲のサイズが大きい場合は、早送りや巻戻しができない場合があります。
曲の音程、ピッチがずれている	曲を移調していませんか？(P.34) チューニングの設定は適切ですか？(P.12)
パート・ボタンがきかない	16パート画面を表示していませんか？(P.36) 16パート画面を表示しているときは、パート・ボタンはききません。
ノイズが出る	大正琴のピックアップは、電源からのノイズの影響を受けやすいので、本機はACアダプタや家庭用コンセントから出来るだけ離して使用してください。 外部アンプの設置場所によってもノイズが出る場合がありますので、その場合にはノイズが少なくなる場所まで外部アンプを移動してください。

エラー表示/その他の表示

表示	意味
-1	弱起の曲(1拍目以外で始まる曲)を再生すると、画面の小節番号が、「-1、1、2・・・」のように表示されます。
[Err]No Disk	ディスクドライブにフロッピーディスクが入っていません。
[Err]Unknown Disk	このフロッピーディスクはフォーマットされていません。 このフロッピーディスクの曲を「あゆ」で聴くことはできません。
[Err]Disk Ejected	動作中にフロッピーディスクが抜かれました。操作をはじめからやり直してください。
[Err]DamagedDisk	フロッピーディスクに壊れている部分が見つかりました。このフロッピーディスクを使用することはできません。
[Err]Can't Read	この曲データを読み込むことができません。
[Err]Can't Play	「あゆ」のフロッピーディスクの読み出しが間に合いません。[■(停止)]ボタンを押してください。その後、[◀(曲の頭)]ボタンを押してから、[▶(再生)]ボタンで曲を再生させてください。
[Err]Memory Full	「あゆ」本体の容量一杯になってしまったため、曲を聴くことができません。「あゆ」で聴くことができる曲の最大容量は、約196kバイトです。
[Err]Memory Err	システムに異常があります。もう一度操作をやり直してください。何度か操作をやり直してもこの表示が出る場合は、お買い上げ販売店、スズキ各営業所またはスズキお客様相談窓口にご連絡ください。
[Err]TooMany File	フロッピーディスクに99曲以上の曲データがあります。 99曲目以降の曲データは再生できません。

内蔵曲/内蔵リズム一覧

No.	1-入門曲	No.	2-演歌
1	荒城の月	1	あばれ太鼓
2	こきりこ節	2	天城越え
3	さくらさくら	3	帰ってこいよ
4	知床旅情	4	河内おとこ節
5	船頭小唄	5	川の流れるように
6	早春賦	6	北国の春
7	千曲川	7	北の宿から
8	浜千鳥	8	くちなしの花
9	ふるさと	9	せんせい
10	ゆうやけこやけ	10	珍島物語
		11	津軽海峡冬景色
		12	長良川艶歌
		13	浪花節だよ人生は
		14	二輪草
		15	風雪ながれ旅
		16	まつり
		17	雪國
No.	3-懐メロ	No.	4-ムード歌謡
1	影をしたい	1	粋な別れ
2	カチューシャの唄	2	襟裳唄
3	高校3年生	3	思い出迷子
4	ここに幸あり	4	京都の恋
5	古城	5	恋の町札幌
6	ゴンドラの唄	6	心のこり
7	人生劇場	7	人生いろいろ
8	野崎小唄	8	時の流れに身をまかせ
9	ミヨちゃん	9	涙くんさよなら
10	名月赤城山	10	釜山港へ帰れ
11	明治一代女	11	二人でお酒を
		12	二人の大阪
		13	星降る街角
		14	もしかしてPart 2
		15	別れても好きな人

内蔵曲／内蔵リズム一覧

No.	5- ポップス	No.	6- GS/フォーク	No.	7- ウェディング
1	赤い風船	1	青葉城恋唄	1	祝い酒
2	あずさ2号	2	思い出の渚	2	祝い船
3	熱き心に	3	結婚しようよ	3	贈る言葉
4	恋のバカンス	4	秋桜	4	お嫁においで
5	小指の思い出	5	なごり雪	5	乾杯
6	私鉄沿線	6	花	6	君といつまでも
7	空に太陽がある限り	7	ブルーシャトー	7	兄弟船
8	花の首飾り	8	ふれあい	8	世界は二人のために
9	ひとりじゃないの	9	岬めぐり	9	瀬戸の花嫁
10	ブルーライトヨコハマ	10	もしもピアノが弾けたなら	10	花嫁
11	星のフラメンコ	11	夢の中へ	11	娘よ
12	真赤な太陽				
13	また逢う日まで				
14	よろしく哀愁				
15	別れの子感				

No.	R- リズム	No.	R- リズム
1	8ビート1	16	サンバ2
2	8ビート2	17	ビギン
3	8ビート3	18	シャッフル
4	16ビート	19	ラテン
5	2ビート	20	チャチャ
6	4ビート	21	タンゴ
7	3拍子1	22	ダンスパーティ
8	3拍子2	23	音頭1
9	12/8拍子	24	音頭2
10	ロック	25	トランス
11	マーチ1	26	ツイスト
12	マーチ2		
13	マーチ3		
14	ボサノバ		
15	サンバ1		

ショートカットボタン一覧

ボタン操作	機能
[選曲] + [1]	マスターチューン 設定 (P.12)
[選曲] + [2]	16パート 設定 (P.36)
[選曲] + [3]	リバーブ 設定 (P.35)
[選曲] + [4]	オール・ソング・プレイ 設定 (P.42)
[選曲] + [リズム]	トランスポーズ 設定 (P.34)
[選曲] + [〜▶(カウントイン)]	カウントイン 設定 (P.41)

例) [選曲] + [1] は、
[選曲] ボタンを押しながら、[1] ボタンを押すことを表します。

パラメーター一覧

パラメータ	設定範囲	初期設定値
Marker [A]	-1 - 999	---
Marker [B]	-1 - 999	---
Tuner String	1/2/3,4/5	1/2/3
Tuner Sound	Sine, Square	Sine
Count In Measure	1, 2	1
Count In Repeat	First, Every	First
Transpose	-24 - +24	0
Master Tune	430Hz - 450Hz	440Hz
Reverb Type	Normal, Mute	Normal
All Song Play	Normal, Random	Normal
Metronome Volume	0 - 10	5

※各パラメータの設定値は、電源を入れ直すと初期設定値に戻ります。

主な仕様

品番 TES-151: 大正琴伴奏器「あゆ」

<大正琴>

- 鍵盤
27鍵 5~6*
 - 絃
第1絃、第2絃、第3絃: 兼用1-3絃用
第4絃 : 兼用4絃用
第5絃 : 兼用5絃用
 - コントロール
調絃
- ### <音源>
- GMフォーマット対応
- 音源
VASE II
 - 最大同時発音数
32音
 - 音色
PCM 275音色 ドラムセット11
 - マスター・チューン
430 Hz ~ 450 Hz (1 Hz 単位)
 - トランスポーズ
プレイバック・トランスポーズ (-24 ~ +24 半音)
 - エフェクト
リバーブ
- ### <シーケンサー>
- メトロノーム
拍子: 2/2, 0/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 6/4, 7/4, 3/8, 6/8, 9/8, 12/8
音量調節: 10段階
 - パート数
6/16パート
 - テンポ
4分音符=20 ~ 300
 - コントロール
頭出し、停止、再生、巻戻し、早送り、選曲、ジャンル選択
パート選択、繰返し、マーク、カウントイン、
メトロノーム、テンポ、▲、▼

<ディスクドライブ/記憶媒体>

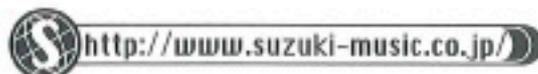
- 3.5 インチ・フロッピーディスクドライブ
 - ディスク・フォーマット
720K バイト(2DD)
1.44M バイト(2HD)
 - 再生可能ソフト
SMF フォーマット(0/1)
- ### <その他>
- 定格出力
2 W x1
 - スピーカー
10 cm x 1
 - 表示器
拍ランプ
16文字2行LCD
 - コントロール
大正琴音質、大正琴音量、伴奏音量
 - 接続端子
大正琴出力: 基準出力レベル 600[mV](-2[dBm])
出力インピーダンス 100 [Ω] 以下
伴奏出力: 基準出力レベル 800[mV](0[dBm])
出力インピーダンス 100[Ω]以下
ACアダプタ
 - 電源
DC 10 V
 - 消費電流
1000 mA
 - 外形寸法
730 mm (幅) x 210 mm (奥行) x 110 mm (高さ)
 - 質量
3.0 kg
 - 付属品
取扱説明書、保証書、ACアダプタ (AD1-1010)
楽譜、ピック、予備絃 (細線 x1 細巻線 x1)
接続コード、ソフトケース

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家2-25-12 ☎(053) 461-2325

鈴木楽器販売株式会社



メールでのお問い合わせは下記まで
info@suzuki-music.co.jp

00457-30017 Version1.1
8066-5C-TYP-MM-089-A

